

出席報告

会員数	計算に用いた 会員数	出席	出席率	前々回の修正 出席率
58名	54名	51名	94.44%	86.54%

欠席者 伊東・前野・小笠原 以上3名

他RCへの出席者 小林(2/4三島西) 安保(2/5沼津)
吉野・山田(2/8沼津柿田川) 以上4名

卓話

年男語る 大貫隆弘君



平成22年2月15日で48歳になります。年を重ねるにつれて干支について意識するようになりました。本日の沼津北ロータリークラブで皆様のお時間をいただくことをきっかけに、「寅年父さん、寅年母さん」という本を読み、今年一年の過ごし方を考えることが出来ました。また、本日は、寅年・寅月・寅日であることも何かのご縁を感じます。今日の記念すべき日を選んでいただき、本当にありがとうございます。

「寅年父さん、寅年母さん」によると、聖徳太子が物部氏を倒しに行くとき、奈良の信貴山でトラを連れた毘沙門天に会い戦いの秘法を伝授していただいたとのこと。このときが毘沙門天の最初の登場であり、トラを引き連れていたことが寅年の守護神の謂れのようなのです。信貴山の命名は、聖徳太子が「信ずるべき、貴ぶべき山」として付けたものであり、今でも多くの参拝者が訪れております。

本日、このお時間をいただくことお聞きし、1ヶ月くらい前から予定を立て、今朝4時の寅の刻に合わせ、奈良・信貴山に参詣に行っていました。聖徳太子は寅年・寅日・寅刻の3寅でしたが、寅年・寅月・寅日・寅刻の4寅のパワーをいただいています。

弊社、長泉パークライジングは2月から46期の営業年度に入りました。年度方針・事業計画を社員に伝えるための経営計画発表会を2月6日に執り行いました。厳しい経済情勢の中、「社風の改善・改革」が今年のテーマです。そのためには、まず社長が率先垂範することが重要であり、そのためにも精神的な成長が重要であると考えます。今年一年、次の寅年の還暦までに「何をして、何を残すか」を考える時期といたします。

また、沼津北ロータリークラブにおいても、皆様のご指導をいただき、且つロータリアンとしての自覚を高めるように精進し、少しでも皆様のお役に立てればと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

卓話

年男語る 名取賢吉君



私は6回目の年男です。ですから今年で72歳になりました。

そこで、当クラブの例会で12年前・24年前・36年前にそれぞれ年男の方々がどんな話をされていたのか、クラブ会報に掲載されている記事を切り口としてお話しさせていただきます。

まずは36年前ですが、年男は永倉芳郎様・山口考一様・大槻良雄様の3名の方々でした。永倉様は『十分間今年の初思案』で、当クラブ二代会長斉藤先生の「毎として一つずつ目標を定めて実行実現していきたい」の言葉に従って、「酒は“徳利3本以内”を実行したい」という誓いをしました。山口様は箇条書きに、沼津に生まれ沼津に住めたこと。家業を継げたこと。健康であったこと。最も喜んでいることは、ロータリークラブへ入会して多くの友人、知己を得たこと。以上の4つを挙げておられました。

24年前は、山口考一様・秋鹿敏雄様・和田光正様・吉川正明様の4名の方々でした。秋鹿様は「阪神タイガースが21年ぶりに優勝した余韻の中で、4回目の寅年を迎えた。いつまでも酒浸りのトラにならないよう気をつけ、虎の子を失わないように、虎の威を借りてでも、この一年間を頑張りたい」と結んでいました。和田様は「寅年は激動の年。真の国際化への対応の時代と位置づけたい。日本は好むと好まざるとにかかわらず国際社会の影響下にある。我々は日本的土壌ではなく、地球的発想で処してゆかねばならない」と書いておられました。吉川様は「私は岳陽市に“岳陽少年児童楽園”を造っている。多額な投資、しかも採算はとれない。しかし遊園地造りに私の最大の夢をかけており、小さいことではあるが日中友好に寄与するし、ロータリーの国際奉仕に通じると思う」と書いておられます。

12年前は、石黒邦男様・小谷勇様・吉川正明様と私で4名でした。小谷様は『県東部28市町村を6都市連合に』と題して、「初仕事として手がけたサンフロント21懇話会活動の地盤固めを終えて、更なる飛躍を期す年がたまたま寅年となった。先ず今年はボタンのかけ違いが生じないよう各界のご意見を伺うことから着手したい。また、橋本首相は経済団体の祝賀パーティで、“戊寅”の今年、過去のしがらみの中で切るべき枝は切り、新時代に残すべき幹はきちんと育てる年にしたい」と抱負を述べられた。いずれにしても“戊寅”の年は大きな転換点、人間は60年も経つと過去を忘れ同じ過ちを犯すから、自分自身のカジとりをしっかりとやっていきたい」と結んでいました。